

●海洋教育写真コンテストの入賞作品より、B部門（海の風景とくらし部門）の優秀賞の作品です。



左上は、南下浦中学校3年生の渡辺航成さんの作品です。タイトルは「俺をメインにしろや（ふじさん）」。波の一瞬の動きをとらえた作品です。波の迫力、そして、力強さが伝わってきます。この作品に登場しているのは、「波」「釣り人」「遠い海」そして「富士山」。波が主人公と思われませんが、よく見ると、



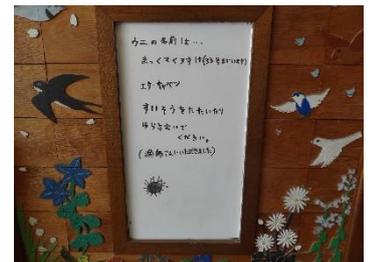
波を取り囲んでいる「自然の雄大さ」も伝わってくる作品です。右上は、初声中学校1年生の中村温（のどか）さんの作品です。タイトルは「お盆の後の海」。撮影したのは、初声の和田海岸。同じ初声の三戸地区で行われている「オショロ流し」で流されたものの一部が打ち上げられたのでしょうか？ 作者は、これを見つけて、「先祖を敬う気持ちは、どこも一緒だと感じました」とコメントを残しています。見つけたものから、人の心にまで思い



めぐらすことができることも、素晴らしいと思います。左下は、初声中学校1年生の湊優翔（ゆうと）さんの作品です。タイトルは「ダイヤモンド富士山と海」貴重なチャンスをとらえた作品です。太陽が、ちょうど富士山の頂上にかかっています。夕焼けと海の明るさの違いが、富士山を浮き上がらせています。シャッターチャンスを待って、待って、撮影できた作品。作者のこの作品にかける思いと、「瞬間の美しさ」が伝わってきます。



初声小学校では、ウニをたくさん飼っています。キャベツを食べさせて育てようとしています。ウニには、子どもたちが「まっくろくろすけ」という名前を付けていて、33号までいるそうです。三戸の漁師さんが協力してくれています。カラスガイを水槽に入れると、水がきれいになるということで、NPO法人小網代パール海育隊（小パール隊）の協力で、



12月13日（水）に、カラスガイを投入しました。カワハギは、おなががすいていたのか、開いている貝を見つけて食べ始めました。ヤドカリやウニもカラスガイに寄ってきました。後日の情報で、やはり水もきれいになっているようです。



旭小学校では、ボラの子どもたちが群れをつくって泳いでいました。他の魚たちと共生し始めたようで、元気に泳いでいるそうです。キラキラ輝いていました。右の写真のように、大きなイサキも入っていました。（文責 事務局長 渋谷）



昨年中は、お世話になりました。皆さんの努力で、海洋教育の成果も少しずつ出てきています。これからも、海洋教育関連の話題を取り上げていきたいと思っています。本年もよろしくお願いいたします。

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所（854-9443）まで